



親楽プログラムを活用した家庭教育支援 忌部小学校(入学説明会)で親楽

2月6日(木)忌部小学校の入学説明会の保護者交流会として親楽を実施しました。忌部小学校の新入生は、ほとんどが別々の幼稚園・保育園ですので、入学前に親同士のつながりを作りたいという願いからこの親楽を入学説明会に取り入れていただいています。

当日は、14:00から入学説明会で様々な説明を受けた新入生の保護者さんと14:30から15:00という短い時間のプログラムを体験してもらいました。ネームカードに名前を書いて自己紹介(アイスブレイク)したら、さっそく「わが子への関わりで大切にしたいこと」というテーマでカードワークを行いました。

「そーそー」や「確かにー」など、グループからは様々な反応の声が上がり、親同士でこどもとの関わりについて話が盛り上がっていました。入学前に顔見知りがいなくてもできると安心して入学させられると保護者さんからも好評でした。



《保護者の感想》

- ・楽しい学校生活が送れるように、保護者さんと協力していこうという気持ちが高まりました。
- ・こどもとの関わり方って、子育てに追われてあまり考えることができなかったですが、今日のことでいろいろと勉強になりました！
- ・他の保護者さんとお話できてよい時間になりました。他のお子さんの子育てで気を付けていることを聞けて、参考になりました。
- ・これから気を付けていきたいなと思うことがたくさんで、みなさんと話せて楽しかったです。
- ・このような機会があると、子育てのいろいろな悩みを共有できて良いなと思いました。

放課後子どもプラン 関係事業の推進

こどものための学びあい支援あい講座「実践発表」

2月19日(水)に市民活動センター(STIC)にて開催しました。この講座は、児童クラブや放課後子ども教室のスタッフさん向け講座で、年間10回開催します。今回は、最終回として2つの児童クラブの実践発表をもとに、参加者同士で情報交換したり交流したりしました。八束っ子児童クラブは、「保育園との交流や小学校との情報共有、相談体制の充実」を中心に、つくし児童クラブは、「整った環境や設備を有効活用し、保育所兼務のスタッフが情報共有しながらこどもたちを見守る体制」を中心に発表していただきました。

その後の交流会では、発表クラブの良かったところをグループで出し合ったり、自分のクラブ・教室の1年間をふり振り返り、成果や課題をグループで情報交換したりしました。次年度も充実した講座を10回実施できるよう計画しています。



八束っ子児童クラブさん



つくし児童クラブさん



《参加者の感想》

- ・意見交換では参考にしたい事柄や同じような悩みや不安の共有などが聞けて良かった。
- ・どちらも環境が整っていて、うらやましいと感じた。
- ・意見交換を通して、自分たちが実践していることでもよかったんだと、安心感が生まれました。
- ・「〇〇していこう!」「〇〇するといいよ!」などと今日からでも実践できるこどもへの声かけを知ることができてよかった。

ふるさと教育の取組

大口町交流事業ウインタースクール「成果報告会」開催

2月15日(土)大口町交流事業ウインタースクールの成果報告会を松江歴史館にて開催しました。9月の募集開始から始まり、11月には松江にやって来た愛知県大口町6年生との交流、12月には大口町周辺での交流や見学を行ったウインタースクール。そのまとめとして、副教育長にその成果を報告しました。

この会は、児童の皆さんがお互いの成果を共有するとともに、関係者や保護者の皆さんにも報告することで、この事業の意義を再認識し、今後の生活に生かしてもらうことをねらいとしていました。

当日、児童の皆さんは報告会1時間半前、2か月ぶりに集まりました。同窓会のようにそれぞれがまとめた報告レポートをもとにグループ内で思い出を語り合ったり、発表の準備をしたりしました。報告会では、一人一人が実際に訪問して感じたことや印象に残ったことを発表しました。

児童の皆さんは、大口町の皆さんの思いに触れ、改めて松江の良さを感じていました。この経験を周りにも広げ、今後の中学校生活に活かしてほしいと思います。



ふるさと・キャリア教育児童生徒アンケート集計結果

松江市の主要事業である「ふるさと・キャリア教育」を推進するうえで、その成果と課題の見える化を図り、事業の効果を検証するために、市立全小・中・義務教育学校小学6年生・中学3年生(9年生)を対象にした意識調査を2月末に実施しました。その結果を速報でお伝えします。

R6ふるさと・キャリア教育アンケート集計

肯定的回答(%)	1 自分にはよいところがあると思う。	2 将来の夢や目標を持っている。	3 人の役に立つ人間になりたいと思う。	4 地域や社会をよりよくするために何かしたいと思う。	5 地域の行事に参加している。	6 今住んでいる地域が好きである。	7 地域には自分の好きなことや興味があることを学ぶ場がある。
小6	82.9	78.5	93.1	82.6	58.8	86.2	66.9
中3	83.4	74.6	92.5	81.7	52.4	82.2	59.2

自己肯定感や将来の夢や目標、地域貢献や地域への愛着については、8割前後の児童生徒が肯定的な回答をしています。特に「人の役に立つ人間になりたい」については、9割を超える肯定的な回答となっています。これらは、4月に行われた全国学力調査の結果と同じような傾向ですが、中学3年生の「将来の夢や目標を持っている」については、肯定的回答が上昇していました。また、地域行事への参加や地域の居場所については、6割前後の肯定的回答になっています。

この結果を活かし、学校でのふるさと教育やキャリア教育を地域と連携しながら進めていくとともに、児童生徒のニーズにあった地域行事や居場所づくりを支援していきたいと思います。

お問い合わせ先

生涯学習課(川神 拓人)

TEL 55-5288

FAX 55-5543

E-mail: s-kikaku@city.matsue.lg.jp



学校教育課

学び推進係(林 和博)

TEL 55-5341

FAX 55-5251

E-mail: manabi@city.matsue.lg.jp



バックナンバー
はこちらから

お気軽にご連絡ください!